あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会 ペロブスカイト太陽電池実証フィールド募集要領

1. 実証の目的

ペロブスカイト太陽電池(PSC)の実証フィールドを愛知県内市町村・企業等から募集し、「あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会*」での実証を通じて PSC の導入促進と横展開に向けたモデルケースの確立を図ることを目的とする。

*あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会(以下「推進協議会」という。)

2025年5月30日、建材メーカー、ゼネコン・住宅メーカー、PSCの施工・システム設計・メンテナンス等のサービス提供事業者、率先利用企業・市町村等の参画により設立。全国に先駆けてPSCを地域に最大限導入することを目指す。愛知県環境局地球温暖化対策課(業務委託先:有限責任監査法人トーマツ)が事務局を務める。

2. 応募資格

対象者は、以下の要件をすべて満たす者とする。

- ・ 愛知県内に所在する市町村、企業、団体等
- ・ 日本国内において法人格を有する者
- ・ 各種資料の提出やヒアリング等、本実証に積極的に協力できる者
- ・ 実証に必要な設備等の費用を負担できる者
- ・ 実証期間中の情報提供及び成果の公表に同意できる者
- ・ 推進協議会に参画している、または参画予定の者
- ・ 秘密保持や知的財産権について、別途定める推進協議会規約を遵守できる者

3. 実証規模・実証方針・実証項目例

(1) 実証規模

- ・ 市町村等施設:数か所、企業等施設:数か所
- ・ 1か所あたり1kW以上
- ・ 1kWのPSC設置に必要な面積は10~15m²程度

(2) 実証方針

- ・ ポテンシャル調査等により割り出した横展開性が高いと考えられる設置施設・場所のうち、未実証の形状や材質の屋根や壁に設置する。
- ・ 愛知県内の他施設・場所等への普及に向けて、積極的なPRを実施する。

(3) 実証項目例(推進協議会事務局で取りまとめる)

- ・ PSC施工の施工方法・工期・費用
- ・ 発電電力量、発電電力の有効活用方法

4. 実証期間

2026年7月頃から2028年度末頃まで

※順次、各実証場所にPSCパネルを提供するため、実証の開始時期は、申請者と推進協議会事務局で相談の上決定する。

※実証期間は2~3年を想定しているが、実証の終了時期は、申請者と推進協議会事務局で相談の上決定する。

5. 実証施設例

- ・ 公共施設:庁舎、公民館、学校、体育館、図書館、病院等
- ・ 民間施設:工場、倉庫、商業施設、住宅、農業施設等
- ・ インフラ施設:鉄道施設、道路関連施設、上下水道施設、廃棄物処理施設等
※ただし、2025年度においては、愛知県の公共施設の屋根や壁において実証予定。

6. 設置場所例

- ・ 屋根設置:既存建物の屋根面、特に耐荷重の小さい屋根
- ・ 壁面設置:建物の外壁面、特に南面・東面・西面
- ・ 公共インフラ:駅施設、防音壁、橋梁、トンネル入口等の構造物
- ・ その他:駐車場屋根、農業用ハウス等

7. 応募方法

(1) 提出書類

- ・ 実証フィールド提案書(所定様式)
- ・ 法人の概要を示す書類(市町村を除く)

(2) 提出期限

2025年10月10日(金)午後5時必着

(3) 提出方法

電子メールによる提出とする。

(4) 提出先

電子メール aichi_psc@tohatsu.co.jp

8. 質問等

本募集に関する事務的な内容について質問等がある場合は、2025年9月30日(火)午後5時までに電子メールにより、「ペロブスカイト太陽電池実証フィールド募集要領に関する質問」というタイトルで御質問ください。また、募集に関する事務的な内容ではなく、個別具体的な応募内容に関する問い合わせや相談については、対応できません。

質問等への回答は、3営業日以内に、質問者にメールで回答します。

質問の送付先 aichi_psc@tohatsu.co.jp

(推進協議会事務局:有限責任監査法人トーマツ 電話:080-4684-2946)

9. 選定方法

(1) 評価項目と評価のポイント

以下の項目について評価し、総合的に審査する。

評価項目		評価ポイント
設置場所	設置場所の確保	・PSC及び周辺機器の設置場所確保の見込みが立っているか または設置を希望する場所の条件が明確になっているか
	設置場所の適性	・日射条件、設置可能面積、構造等が判明しているか ・法的要件が明確になっているか
機器構成	実証データの取得	・発電量(kWh)、日射量(kWh/m ²)、パネル温度(°C)のデータを測定、保存できる機器構成になっているか (推進協議会事務局による施工業者等とのマッチングを希望する団体は記載不要)
	発電した電力の有効活用	・電力の用途を想定しているか

実施体制		<ul style="list-style-type: none"> ・実証遂行のために十分な人員を確保しているか ・体制の中で、不足している役割が明確になっているか (推進協議会事務局のマッチングにより補うことができるか)
実証費用の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・実証に必要な費用(設置、測定機器等の費用含む)について、十分に確保できる見込みが立っているか
事業効果等	横展開効果の期待度	<ul style="list-style-type: none"> ・類似施設の PSC 導入ポテンシャルが期待でき、具体的な横展開施設が見込めているか
	地域への波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者の受入等、普及啓発が見込めるか ・モデルケースとして、人通りが多く目立つ場所など PR 効果が見込めるか
	安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・施工中及び実証期間中の安全確保が困難な場所ではないか ・施工中及び実証期間中の安全確保が適正にされるよう配慮しているか (推進協議会事務局による実証フィールド提供者とのマッチングを希望する団体は想定の内容で可)

(2) 選定プロセス

書面審査により選定を行い、必要に応じて現地調査またはヒアリングを実施する。

(3) 選定結果通知

2025 年 11 月中旬頃までに書面審査結果を通知する。その後、現地調査またはヒアリングを実施する。

2026 年 2 月下旬頃までに選定結果を通知する。

10. その他留意事項

(1) 費用負担

PSC パネルは推進協議会事務局から支給する。その他実証に必要な設備(パワーコンディショナ、蓄電池、測定機器等)の費用、設置工事費、撤去費用、管理費用等は申請者が負担する。

(2) 安全管理

設置・撤去作業中及び実証期間中の安全管理については、推進協議会事務局と協議の上で申請者が適切に実施すること。

(3) データ取得協力

発電データ、気象データ等のモデルケース確立のために必要なデータ取得に協力すること。

(4) 広報協力

実証の成果公表、視察対応等に協力すること。

(5) 原状回復

実証期間終了後は、原則として申請者が原状回復を行う。ただし、継続実証が必要な場合や希望する場合は別途協議する。

※継続実証する場合であっても、実証期間終了後は PSC パネルについては最終的に事務局に返却するものとする。

(6) 知的財産権

実証で得られた施工方法、データ、成果等の知的財産権の取り扱いについては、推進協議会規約を遵守するものとする。

(7) 法令順守・安全措置等

実証の内容は、関係法令・基準を遵守したものとする。実証により発生した損害(第三者に及ぼした損害を含む)については、申請者がその費用を負担するものとする。なお、申請者は、損害が生じた場合に備え、保険に加入することが望ましい。申請者は自らの負担のもとで、実

証の実施において必要な安全措置等を講じるものとする。

以上